

保険業における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	お客様宅から支部へ帰社途中、バイクで走行中、道路の溝にバイクの前輪がハマり、そのままバイクと共に転倒した。	40	500～999
1	13～14	オフィスから約束のお客様と打ち合わせ先である飲食店へ、同僚の運転する車に同乗して向かう際、待ち合わせ先の駐車場に入るためウインカーを出して停車したところ、後方よりトラックに追突され、頸椎・腰椎捻挫・肋骨骨折・左足痺れ・めまい・吐気・頭痛を負った。	34	—
1	13～14	オフィスから約束のお客様と打ち合わせ先である飲食店に車で向かう際、待ち合わせ先の駐車場に入るためウインカーを出して停車したところ、後方よりトラックに追突され、首のムチウチ、めまい、両腕に痺れ、左骨盤あたりに内出血を負った。	26	—
1	11～12	営業部から顧客宅へ向かうと途中、原付で交差点手前信号が青になったので進もうとした所、相手（車）が曲がってはいけない所を曲がろうと急に出てきたので回避できず、ぶつかってしまった。	23	50～99
1	13～14	駐輪場よりバイクで顧客宅へ向かう際、国道（複数車線）の向こう反対車線に右折で出ようとし、左側から来た乗用車に気付かず接触転倒し負傷した。	70	—
1	12～13	お客さまの会社に訪問後、会議があるため送り、その後戻る途中、直進していたら、右側面に加害者運転の車がぶつかってきた。	42	100～299
1	13～14	顧客宅を訪問した後、別の顧客宅へ向かう途中、青信号で走行中、南の方から相手方車両が赤信号で突っ込み被災した。	49	500～

				999
1	0~1	自動車を運転中、信号待ちをしていたところ、後方より追突された。	37	30 ~ 49
1	12~ 13	自動車で走行中、右側路地より出てきた車とぶつかり、前方左側の民家の壁に衝突した。車は大破するも外傷がなかったため、警察等への届け出後に帰宅したが、吐き気・倦怠感等が生じ入院となった。	43	10 ~ 29
2	8~9	信号待ちをしていたところ、後方より追突された。加害者の話では、路面がアイスバーンになっており、ブレーキを踏んだ際、止まることが出来ず滑ってしまい、追突してしまったとのことである。	41	100 ~ 299
2	10~11	病院付近を顧客宅へ向かって走行中、信号の無い交差点で、左から進入してきた軽トラックに左側面に衝突されてしまった。自車は、道路外に出てフェンスに激突して止まった。その為、被災者は全身に打撲を負ってしまった。	32	10 ~ 29
2	16~17	一般道路（優先）を走行中、右側農道より前方不注意一時停止を無視した軽トラックが進入し、追突された。	38	50 ~ 99
2	12~13	お客様勤務先から同僚の運転する車に同時して帰社する途上の事故である。見通しの悪いカーブを減速して走行中、左脇から出てきた車が左前に衝突した。衝撃でシートベルトが胸部と腰に食い込み、頸部を捻挫した。事故発生場所は信号のない道路で、自車が走行していた道が優先道路だった。頸椎捻挫、胸骨部、腰部を打撲した。	29	30 ~ 49
2	12~13	お客様を訪問後、車で帰社する途上の事故である。見通しの悪いカーブを30~40 km/hで走行中、脇道から出てきた相手車が自車左前に衝突し、衝撃でシートベルトが胸や腰に食い込んだ。一時停止標識は無かったが、自分の走行していた道が優先道路だった。頸椎捻挫、胸部・腰打撲、背中の痛みあり。同僚が同乗していた。	42	30 ~ 49
		道幅の狭くなっている道路を進行中、対向車が来ていて前方車が停止していた為、		30

2	16~17	停車していたところ、後から相手方車両が追突してきたものである。	26	~ 49
2	11~12	お客様のお宅での幼児を済ませ帰宅途中に自転車で走行中、路地から出てきた車の左折時に巻き込まれ、自転車ごと転倒し、バンパーの下に挟まれた。	50	—
2	12~13	社内イベントが開催されるため、会場へ行く途中の事故である。道路を直進中、交差点で、相手車が進入してきた際、助手席側に接触したものである。	51	10 ~ 29
2	11~12	道路で一時停止後、発進し、右折しようとしたところ、左側から直進してきた車と接触した。	54	30 ~ 49
2	10~11	オフィスから約束のお客様宅へ車で訪問する際の事故である。交差点で赤信号停車中、追突された。4台の玉突き事故で自身は先頭車であった。事故後はアポをキャンセルした。首、腰のむち打ち、頭痛、吐き気あり。事故後、救急搬送された。	36	30 ~ 49
3	12~13	十字路交差点を直進中、ウィンカーを出さずに右折してきた対向車と衝突した。	30	30 ~ 49
3	15~16	本人は一時停止、相手は優先道路の十字路で、本人が一時停止して左右確認し前進したところ、相手の車が左側から直進して衝突した。	60	10 ~ 29
3	16~17	片側2車線の道路、運転席後部座席乗用車（シートベルト未装着）相手の居眠り運転によるセンターラインをオーバーした。当方運転手が衝突を避けるために左にハンドルを切ったが、当方右後部座席側に相手車両が衝突した。	45	50 ~ 99
3	14~15	2車線バイパスの左側を走行中、後方確認のあと右側へ車線変更したところ、後方より追突された。	30	300 ~ 499
		2車線バイパスの左側を走行する車両に同乗中、同車運転手が後方確認のあと右側		300

3	14~15	へ車線変更したところ、後方より追突された。	24	~ 499
3	16~17	青信号を交差点へ進入し直進したところ、対向車が右折し、交差点内で接触した。	43	30 ~ 49
4	16~ 17	交差点で待ち合わせ場所へ向かう途中、左側から赤信号無視した車に衝突され横転した。	32	30 ~ 49
4	11~ 12	お客様宅を車で訪問する途中、交差点付近を走行中に飛び出してきた野良猫を避けようとして電柱に激突し、首・背中・腰のむち打ちを負った。	55	50 ~ 99
4	14~ 15	両車優先の交差点にて一時停止をし、安全確認してから直進し（20km未満）、交差点内で左側からきた車に衝突される。	27	500 ~ 999
4	12~ 13	お客様訪問後、同僚が運転する車に同乗して帰社途中、昼食購入のためコンビニに立ち寄った際、コンビニ駐車場で停車中にバックしてきた車が助手席側後方に衝突し、吐き気や頭痛、首のムチウチ、腰と両腕の痛みを負った。	33	50 ~ 99
4	12~ 13	お客様訪問後、同僚が運転する車に同乗して帰社途中、昼食購入のためコンビニに立ち寄った際、コンビニ駐車場で停車中にバックしてきた車が助手席側後方に衝突し、吐き気や頭痛、首のムチウチ、腰と両腕の痛みを負った。	32	50 ~ 99
4	14~ 15	お客様のアポに向かう途中に、信号のない交差点で一旦停止をし、左右確認して動き出したところへ右側からトラックがスピードを上げ突っこんできたため、そのまま数メートル引きずられて車は大破した。	65	50 ~ 99
4	11~ 12	新規お客様宅を4~5軒訪問したが不在だったため、医療保険のチラシを投函してオフィスへバイクで戻る際の事故である。手首にかけていた鞆がずれてきたので、かけ直すためバイクを停車したところ縁石とバイクの間に足が挟まり、バランスを崩し左側に転倒し左手と尻をつき、左足首・左手首・尻に打撲、および左足首	53	100 ~ 299

		にヒビを負った。その際、DLバットがかごに入らなかったので手首に鞆をかけて走行していた。		
4	10～ 11	交差点を直進中、対向右折車が被災者運転の車の右側へ衝突してきた。	34	300 ～ 499
4	11～ 12	お客様宅より住宅街から道路へと出る際に前輪（単車）が小石を踏み、バランスを崩して転倒し、鎖骨骨折及び打撲を負う。	52	—
4	14～ 15	業務中に会社届け出のバイクで顧客宅から次の顧客宅へ移動中、信号のない交差点で相手自動車と接触した。	57	30 ～ 49
4	11～ 12	交差点付近で黄色点滅信号を直進中、左方（西）から接近した車両（赤点滅にもかかわらず一旦停止せず）との接触を回避すべく急制動したところ、ハンドルに左胸部をぶつけ打撲した。（相手は逃走した。）	29	300 ～ 499
4	17～ 18	保険商品のアンケート調査を行った後、職域を訪問途中、コンビニでお手洗いを借りるため車道に停車していたところ追突され、首・背中の捻挫、両手足の痺れ、腰痛となった。現場は見通しのよい直線道路で、立ち寄ったコンビニは訪問予定の職域のすぐ隣にある。	58	30 ～ 49
4	13～ 14	役場のお客様訪問を終え市内のお客様へ向かう途中、登り坂（カーブ）にさしかかった際に雨で相手車両がスリップし、当車両の右前部に相手車両の右後部が衝突した。	51	50 ～ 99
5	15～ 16	信号待ちで停車していたところ、信号が青になり発進したが、前方の車が動いていない（停車中のまま）なのに気付かず、追突してしまった。見切り発進をしてしまったことが原因である。	46	10 ～ 29
5	16～ 17	緩やかな右カーブ手前を走行中の車に同乗していたところ、相手方がセンターラインを越えて衝突して来た。	52	10 ～ 29
	9～	社長（顧客）宅に訪問し、火災保険の他社更改をする為に資料を受け取り、社長ご		500

5	10	紹介の企業に訪問する為、社長の車の助手席に乗って向かっていたところ、一時停止無視の車が、左後方にノーブレーキで追突し、一回転して横転した。	43	～ 999
5	18～ 19	営業部から顧客宅へ向かうため車にて走行中、交差点で左から一旦停止を無視した車に衝突された。	22	500 ～ 999
5	13～ 14	お客様宅から車で帰社途中、交差点で一旦停止し、確認後に右折したが、右側から直進してきた相手車が自車の右前方に衝突した。（けがの経緯は不明）現場には信号が無く、一旦停止の標識は自分側にあった。また、相手が見えていなかった。事故により、胸椎・右肋骨3番目骨折・右足先の痺れ、背中・腰・頭の痛み、右上腕に痣を負った。	67	50 ～ 99
5	13～ 14	信号待ちをしていたところ、後ろから追突された。	38	30 ～ 49
5	11～ 12	お客様宅を訪問し帰る際、車に乗車しようとしたところ、車のドアに右手を挟んでしまった。	61	100 ～ 299
5	11～ 12	信号停止中に、後方から追突された勢いで、前の車に追突した。	45	10 ～ 29
5	9～ 10	駐車場から左折しようとして、20cm程の段差に気付かずそのまま進んでしまい、衝撃に驚いて慌てたところ、前で信号待ちをしていた車に衝突した。	74	50 ～ 99
5	21～ 22	お客様宅へ車で訪問途上、道路が混む時間帯のため早めに出発したが、約束時間が変更になったため、経路上のコンビニで時間調整をしてお客様宅へ向かった際に、信号の無い交差点で左折のため停車中に、前方不注意の後続車に追突された。その際に左肩から脇腹にかけて打撲し、しばらくして腰部辺りに痛みが出て、びっこを引くようになった。	37	50 ～ 99

6	13～ 14	病院前交差点付近にて、赤信号で停車中に後方の車が追突され、玉突き形で車に追突された。頸椎捻挫の怪我のほか、自動車後部が破損している状況である。	30	10 ～ 29
6	14～ 15	午前中の仕事を終えて、次の学校へ移動中、赤信号で停車したところ、後方から追突された。	46	30 ～ 49
6	18～ 19	約束のお客様と待ち合わせしたファミリーレストランに車で向かう途上の事故である。待ち合わせまでに時間があつたため、コンビニで飲み物を購入してトイレに行き、駐車場からバックで発進したところ、後ろから来ていた車に気づかず衝突した。オフィスから待ち合わせ場所の経路上にコンビニが無かつたため、道路を一本入つたところの店に行った。災害発生の1時間前までは、オフィスで事務作業をしていた。頸椎捻挫と腰に痛みが生じた。当初、医師からストレートネックと診断を受け、事故とは直接の関係は無いとの判断で休職なしとなった。その後も痛みが引か無かつたため、再受診した際に首の硬直があり、労災との関連が認められたため休職となった。	32	300 ～ 499
6	9～ 10	朝一約束のお客様と待ち合わせした店に車で向かう途上の事故である。交差点手前を走行中、救急車が来たので停車したところ、後続車に追突された。お客様が仕事の打ち合わせで外出されるため、その合間の時間に契約手続きをする予定であつた。お客様に事故にあつた旨を伝えたところ、現場まで来て下さり、手続きをした。（頸椎捻挫）	26	300 ～ 499
6	15～ 16	交差点で信号待ちをしている車両に、後方から追突した。	54	100 ～ 299
6	12～ 13	お客様訪問のため自動車に向かっている途中、交差点で赤信号で停車していたところ、後方から車に追突された。	48	500 ～ 999
		ブロック大会へ出席するため走行中の事故である。右折車両がいたため停車していたところ後方から追突され、衝撃で前の車に追突し、3台玉突き事故になった。前		

6	11~ 12	方車への衝突時にエアバッグが作動し、胸部を打った。（胸部打撲）事故後は救急搬送されたため、ブロック大会には参加出来なかった。1台目（不明）、2台目（本人）、3台目（加害者）となり、最初に追突した最後尾の加害者が全て支払いとなる。	37	300 ~ 499
7	12~13	駐車場で友人と友人から紹介をいただいたお客様と待ち合わせをし、友人の車でお客様の希望されるレストランに向かう途上の事故。踏切で停車中に追突された。友人からお客様を紹介していただき、レストランで昼食を取りながら保険の説明をする予定だった。事故後は救急搬送された。頸椎捻挫、右肩の打撲、腕が重い感じがして上げにくい。	30	300 ~ 499
7	18~19	バイクで信号のない交差点をブレーキをかけて右折しようとしたところ、砂で横すべりして転倒した。	56	300 ~ 499
7	17~18	お客様のお宅から帰所する途中で優先道路を直進中、相手が一時停止をせずに左折したため接触。	33	50 ~ 99
7	16~17	車で帰社途上の事故。走行中、右カーブでハンドルを切り過ぎてしまい、急いで左に戻したが間に合わず、センターラインをはみ出して対向車に衝突した。当日は、西日が眩しくて運転しにくかった。首のむちうち、首・胸部・腰部・腹部の打撲（所属営業所に戻る途中の事故）。	64	30 ~ 49
7	13~14	お客様宅から車で帰社途上の事故。T字路にて右折待ちのため停車中、トラックに追突され、自車は前に押し出されて前車に衝突し、3台の玉突き事故となった。事故後救急搬送された。	38	30 ~ 49
7	11~12	保険募集の提案に向かう途中、交差点の信号待ち2台目で止まっていたところ、車に追突された。	29	300 ~ 499
7	10~11	約束のお客様宅を車で訪問途上の事故。交差点で停車し、信号が青に変わったので発車しようとしたところ、追突された。首の後ろから背中へのむちうち。	47	30 ~

				49
7	10～ 11	道路で停車中に後ろからきた車に追突された。	54	300 ～ 499
7	12～ 13	優先道路を走行中、相手が一時停止を無視し、左側より追突された。	45	300 ～ 499
7	11～ 12	お客様の家を出て、職域活動に向かう途中、国道交差点手前で、居眠りをしてセンターラインを越えてきた車にぶつけられた。	38	500 ～ 999
7	15～ 16	待ち合わせをしたお客様との商談を終え、バイクで帰社途上の事故である。信号の無い十字路を時速40km位で走行中、脇道から出てきた相手車と接触し、右側にはね飛ばされ、救急搬送された。その際、右膝を負傷し、両膝下・右太もも・右脇に痣ができた。なお、事故当時、被災者は優先道路を走行していた。	23	100 ～ 299
7	20～ 21	車で支部に戻る途中、交差点を過ぎたところにあるS字カーブでスリップし、車が横転した。救急車で運ばれ、右前腕部挫傷、肩打撲と診断された。	82	300 ～ 499
7	11～ 12	お客様宅から車での帰社途上の事故である。交差点付近で赤信号停止中に追突され、頸椎捻挫、胸部出口症候群の怪我を負った。	28	30 ～ 49
7	13～ 14	幹線道路を走行中、左側から車が飛び出して来てぶつかった。	40	300 ～ 499
7	9～ 10	会社へ出勤後、拠点から顧客宅へ向かう途中、会社近くの見通しの悪い交差点で、車同士の接触事故が起きた。	40	30 ～ 49
	15～	保険の募集活動を終え帰社する途中、赤信号で停止中に、後方から来た車に追突さ		100

9	16	れた。	29	～ 299
9	12～ 13	会社の同僚の運転する車に同乗中事故に遭う。	35	～ 299
9	11～ 12	挨拶訪問にて、被契約者宅へ向かう途中、県道に出るT字路にて停車中、前方から右折してきた軽トラックと衝突した。支社、実践教育課長が後部座席に同乗していた。	49	1～ 9
9	17～ 18	お客様の会社改装祝いの品を購入するため、片側4車線の最右側を走行中、隣の3車線から突然右折しようとした相手側の車が、左側面に衝突した。	57	50 ～ 99
9	16～ 17	保険の募集活動中に自転車で支部へ戻ろうとしたところ、コンビニから車道へ出ようと自動車が停止していたため、自転車を一旦停止。車道の車の状況を確認し、通行できると思い進んだところ、停止していた自動車も動きだし、衝突した。	44	100 ～ 299
9	9～ 10	お客様宅から営業部へ戻る際に、営業部に入る為ウィンカーを出して止まっている時に、後ろから追突された。	64	500 ～ 999
9	18～ 19	お客さま宅を訪問後、自動車にて帰宅途中に前の車が右折するため停車していたところ、後ろからきた車が激しく追突してきた。	53	300 ～ 499
9	16～ 17	自車が右折するために停車していたところ、左後相手車がバックで駐車場より出てきて、衝突した。	67	50 ～ 99
10	14～ 15	自転車運転中、パチンコ店の駐車場より車が出てきて、被災者の右側に衝突、負傷。	26	10 ～ 29
		お客様宅を訪問後、車で帰社途上の事故。走行中、鞆の荷物が気になってわき見		30

10	13～ 14	をしてしまい、前車が減速したことに気がつくのが遅れ、焦ってアクセルを踏み込んで勢いよく衝突した。衝突で舌を噛んでしまった。疾病部位は頸椎捻挫、舌の裂傷、右足付け根、右足首、腰、両腕の痛み、めまい、吐き気。	45 ～ 49
10	13～ 14	信号のない交差点通過中に一時停止を無視した相手方車両より、右脇から追突された。（自身の車線が優先道路）	300 34 ～ 499
10	11～ 12	お客様と車に同乗し、銀行に向かう途中で事故発生。コインパーキングで駐車し、降りようとした際に、車止めに足が引っ掛かり地面に右膝を打ちつけ骨折した。	500 82 ～ 999
10	17～ 18	自転車で交差点に直進進入したところ、右折してきた対向車が自身の右側に衝突し、自転車ごと左側に転倒した。右大腿骨挫傷（自転車のサドルが当たった）、左大腿の切り傷、左肩と左足くるぶしの擦り傷。	500 62 ～ 999
10	18～ 19	運転中、信号手前で停車中に後ろから追突された。（夕方の担当職場へ向かう途中の事故。）	50 47 ～ 99
10	13～ 14	担当企業を訪問し、同市内の担当企業へ書類確認をするためバイクで訪問途上の事故。付近を50～60kmで走行中、左折してきた車と衝突して跳ね飛ばされた。現場は片側2車線の見通しのよい直線道路で信号は無かった。事故当時左レーンを走行していたが、どのように車と接触し怪我をしたかは不明。傷病部位は左手に力が入らない、全身打撲、挫傷、両膝損傷、頭痛。	50 37 ～ 99
10	11～ 12	勤務先（事業部）を出てお客様宅に訪問する際、信号待ちで停止している時に後ろから追突された。	30 30 ～ 49
10	13～ 14	業務中に自家用車を運転し、踏切で電車の通過待ちで停車中に、後続車に追突され受傷した。	10 35 ～ 29
	10～	交差点にて相手車が一時停止せず飛び出してきたため、自車と接触し電柱に激突、	50

10	11	自車は廃車となった。	21	～ 99
10	18～ 19	顧客との手続きを終え、アポイント顧客宅へ車で移動中、走行時に左にそれてコンクリート壁と土手にぶつかり受傷、走行不能となった。ハンドル部分のエアバッグが作動し、胸部をエアバッグで圧迫された。その他、腹部をハンドルの下部に打ち付けた。走行時に考え事をしていて、よそ見、わき見、スマートホン操作は行っていない。	45	10 ～ 29
11	11～ 12	顧客訪問後、移動走行中に前方駐車場からバックで出て来た相手方車に追突され負傷した。	50	300 ～ 499
11	12～ 13	室内にて清掃の点検中に、バスルーム内の排水溝の奥まで清掃が出来ていたか確認するため、屈みながら腰を捻った姿勢で確認していた。確認後起き上がろうとした際に、腰に痛みが走り動けなくなったため病院を受診した。	68	10 ～ 29
11	9～ 10	休日出勤で約束のお客様宅を訪問途上の事故である。乗車中、急ブレーキがかかり右隣の女性がぶつかってきて左に飛ばされ、転倒して車両つなぎ目の鉄板部分で左大腿部を強打した。傷病部位は左大腿部打撲、腰・背中・右脛・右足の甲の痛みである。	69	500 ～ 999
11	13～ 14	お客様宅に年末のカレンダー配りのためバイクで訪問途上の事故である。信号の無い十字路を停止せずに左折したところ、左側から直進してきた相手車と衝突し、気付いたら左側を下にバイクごと転倒していた。事故後、救急搬送された為、2件目の訪問は出来なかった。左鎖骨骨折、左膝下外側打撲にいたった。	72	50 ～ 99
11	18～ 19	約束のお客様訪問後、車で帰社途上の事故である。走行中、考え事をしていて前方不注意により右折レーンで停車中の車に追突し横転した。ブレーキを踏んだかは覚えていない。夕方以降はお客様訪問で残業していた。頭部打撲、首から両肩にかけて痛みがある。	62	50 ～ 99
11	13～ 14	担当顧客へ訪問する際、車にて向かう途中右側より出てきた車と衝突し、その後左側に車止めがありそこにも衝突し上半身を打撲した。	43	300 ～ 499

11	12～ 13	自転車で横断歩道を青信号で横断中に、タクシーがノーブレーキで突っ込んできて、自転車後輪に接触し自転車ごと転倒し頭部を強打した。	69	300 ～ 499
11	13～ 14	顧客宅へ、マイネットとカレンダーを投函に行くところ、右折しようと、指示灯を出し停止している時に後方より、追突された。	51	—
11	17～ 18	お客様宅にカレンダー配布をしている際の事故。バイクで走行中、暗かったため50cm以上の段差があることに気付かずバイクごと落下し、左側に転倒してバイクの座席で腰を強打した。傷病部位は腰を3箇所骨折、左手首・左肘の打撲となった。	68	500 ～ 999
11	12～ 13	社用車で取引先に向かうため、高速道路を走行中、サービスエリア付近の路面の段差で車体が浮き上がり、車体が蛇行し始めた。ブレーキを掛けたが、車両がスリップしコントロール不能となった。車体は回転しながら、中央分離帯に右後方が衝突し、その弾みで、右前方部分が左車線ガードレールに激突した。さらに回転しながら、中央分離帯で停車した。車体は大破し、自走不能となった。事故当日は、午前中に雨が降り、路面が濡れていたことと、下り坂とカーブが続く道路であったため、スピードが出やすくスリップしやすい状況にあった。	27	50 ～ 99
11	15～ 16	直進中に後の車から追突され、そのまま前方の車にも接触したものである。業務中（外回り中）	68	30 ～ 49
12	15～16	営業活動で自動車を運転中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に追突された。	26	50 ～ 99
12	13～14	事故当日は大雪のため視界が非常に悪かった。北から南方面に走行中、一時停止側の相手車が積雪で標識が確認できず、さらに雪で止まりきらずに交差点に進入し、被害者の車の助手席側に衝突した。衝突の影響で2回転して反対車線に停車した。	36	10 ～ 29
		顧客訪問のため事務所を出発し、道路を直進中、信号のない交差点で左側より一時		300

12	17~18	停止しない車が出てきて、相手車右側前方部分と自車前方が衝突したものである。	62	~ 499
12	16~17	顧客宅から営業部へ戻る際、会社の駐車場に入ろうとしたとき、運送会社のトラックが動いていたため停車していたところ、後方より乗用車に追突された。	53	30 ~ 49
12	13~14	お客様宅をバイクで訪問後、同地区にある飲食店で昼食を取り、年末のカレンダー配りのためにバイクで向かう途上の事故である。細い道から片側4車線の大通りを横切り、中央分離帯で一旦停車して左側の車を確認し、注意しながら横断を続けた。一番奥にも車線があったので思わず渡っていたところ、左手から猛スピードで走行してきた車に気づき、急いで渡りきろうとしたが間に合わず、衝突して救急搬送された。その際、第8~10胸椎棘突起骨折、および頭部・右肋骨部と右足踵辺りに打撲を負った。	66	300 ~ 499
12	13~14	営業部に戻る途中、青信号直進中の交差点で、右から赤信号無視の車に追突された。	29	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html